

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.5.23

No. 15

先を読む



連休中何年ぶりかでパソコンで五目並べをやってみました。初級に設定してあるにもかかわらず一向に勝てませんでした。何回やっても、最初は何とか五目並ぶように一生懸命考えていたのにいつの間にか守りに転じ、あっという間に負けてしまいました。

全体を見渡し相手の動きを見つつも自分がとるべき道をしっかり考えないと、一向に勝てません。人生も同じことでしょう。先を読んで行動をしないとなかなか思うようにはならないものです。プロの棋士のように何十手も先を読むなどということは一般人には出来ませんが、何か事に当たったらせめて先を読もうとする姿勢は大切です。

海上で船が難破し、ボートに乗り移った際どちらに向かってこぎ出したらよいかきちんと進むべき方向を見定めずに、闇雲にこぎ続けてもだめです。皆さんはこれからそれぞれの人生行路を模索しながら進んで行かなくてはなりません。いつも先を読むようにつとめ、あらかじめ予想できそうな困難に無策で飛び込むことなく、自分の人生行路がスムーズに進むよう舵取りが必要です。行き当たりばったりの人生では労多くして益が少ないでしょう。

皆さんももう一度少しでも先を読み、先に予想される困難を避けるためにも、今何をしなければいけないのか、どう次の手を打ったらよいかしっかり考え、自分の進路選択に関わって欲しいものです。

来客者への挨拶を!



毎朝生活指導の先生が玄関前に立ち皆さんに挨拶をしています。先生方から挨拶されて初めて挨拶を返す人や、そのまま黙ってその前を通り過ぎる人もいます。校内でも廊下ですれ違った先生方や外部のお客さんにきちんと挨拶が出来ていますか。出来る人もいますが、やっぱり出来ない人も何人か見受けられます。まして挨拶されなければ出来ないではダメです。

現在外部から学校関係や企業関係の方が頻繁に学校へ進路に関わって来られています。その際皆さんとすれ違ったとき、きちんと挨拶をしてくれると、きっとその方達の本校に対するイメージは良くなるでしょう。逆ならどうでしょうか?

特に企業関係者は敏感に学校の雰囲気を感じ取っています。そのイメージで、皆さんが就職試験を受ける際、皆さん自身の進路が左右されるとしたらどうでしょう。自分とは関係ないと思っても実際こうした外部の人の本校に対するイメージが皆さんの進路に大きく関わっています。昨年も地元のある大手の企業の方が来校した際「生徒の挨拶が少ない」というお叱りを受けました。

世の中に出ても挨拶が出来るか否かでその人の評価が左右されがちです。是非来校者にきちんと挨拶をするよう心がけましょう。

また進路室には来客が頻繁にありますので、進路室前の廊下を通るときは静粛にしてください。